



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 明治ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 2269 URL <https://www.meiji.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長 CEO （氏名）松田 克也
問合せ先責任者 （役職名）IR部長 （氏名）田中 正司 TEL 03-3273-3524
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	574,885	1.0	40,942	△7.8	41,626	△4.0	21,477	△20.1
2025年3月期中間期	569,006	4.2	44,392	△0.1	43,347	△0.2	26,867	△3.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 26,549百万円（2.2%） 2025年3月期中間期 25,985百万円（△46.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	79.27	—
2025年3月期中間期	97.66	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	1,233,912	793,867	60.7	2,762.83
2025年3月期	1,184,472	791,783	63.2	2,762.33

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 749,014百万円 2025年3月期 748,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—	52.50			
2026年3月期（予想）			—	52.50	105.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,177,000	2.0	91,000	7.4	87,500	6.7	54,000	6.3	197.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料8ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Meiji Food Asia Pacific Pte. Ltd.

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、[添付資料]14ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期 中間期	282,200,000株	2025年3月期	282,200,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 中間期	11,096,061株	2025年3月期	11,309,372株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期 中間期	270,957,823株	2025年3月期 中間期	275,113,310株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]8ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算短信補足説明資料の入手方法について)

決算短信補足説明資料は決算短信に添付しT D n e tで開示しております。また、当社ホームページにも同日掲載いたします。

(アナリスト・機関投資家向け決算説明会資料の入手方法について)

当社は、2025年11月13日(木)にアナリスト・機関投資家向けのオンライン説明会を開催する予定です。この説明会におけるプレゼンテーション資料および音声情報は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 中間連結貸借対照表	9
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	11
中間連結損益計算書	11
中間連結包括利益計算書	12
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	14
(セグメント情報等の注記)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）における当社グループの経営環境は、国内において雇用・所得環境の改善が見られる一方、物価上昇に伴う生活防衛意識の高まりから節約志向が強まる傾向にあります。また、不安定な国際情勢や各国の通商政策、為替変動など世界経済の先行きも不透明な状況が続いています。

このような環境下、当社グループは2024年4月よりスタートした「2026中期経営計画」に基づき、次の取り組みを推進しています。

食品セグメントでは、価格改定によりコスト上昇分の吸収に取り組むと同時に、既存品の付加価値提案強化や新商品の売上拡大に注力しました。国内ではB to B事業の成長拡大に取り組み、海外では好調な米国事業に注力するとともに、中国事業におけるリバイバルプランの実行を通じて収益性の改善に努めました。

医薬品セグメントでは、抗菌薬やワクチンの安定供給に取り組むとともに、経済安全保障上の課題である抗菌薬原薬の国内生産に向けた体制の構築を進展させました。また、新型コロナウイルス感染症に対する次世代mRNAワクチン「コスタイベ」の2人用バイアル製剤を上市し、薬剤耐性対策に貢献する新規β-ラクタマーゼ阻害剤「OP0595（ナキュバクタム）」の開発にも取り組んでいます。加えて、ジェネリック医薬品業界が抱える供給不安の構造的問題を解決するため、複数の企業とコンソーシアム構想の実現に向けた協議を進めています。

当中間連結会計期間の売上高は 5,748億85百万円（前年同期比 1.0%増）、営業利益は 409億42百万円（同 7.8%減）、経常利益は 416億26百万円（同 4.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は 214億77百万円（同 20.1%減）となりました。

（単位：億円）

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前年同期 増減額	主な増減要因
売上高	5,690	5,748	58	詳細はセグメント別の概況に記載
営業利益	443	409	△34	詳細はセグメント別の概況に記載
営業外収益	20	26	6	為替差益+6
営業外費用	30	19	△10	持分法による投資損失△13
経常利益	433	416	△17	—
特別利益	40	22	△18	投資有価証券売却益△32、 固定資産売却益+13
特別損失	31	39	7	—
税金等調整前 中間純利益	442	399	△43	—
法人税等	147	152	4	—
非支配株主に帰属する 中間純利益	26	31	5	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	268	214	△53	—

セグメント別の概況は次のとおりです。

①食品セグメント

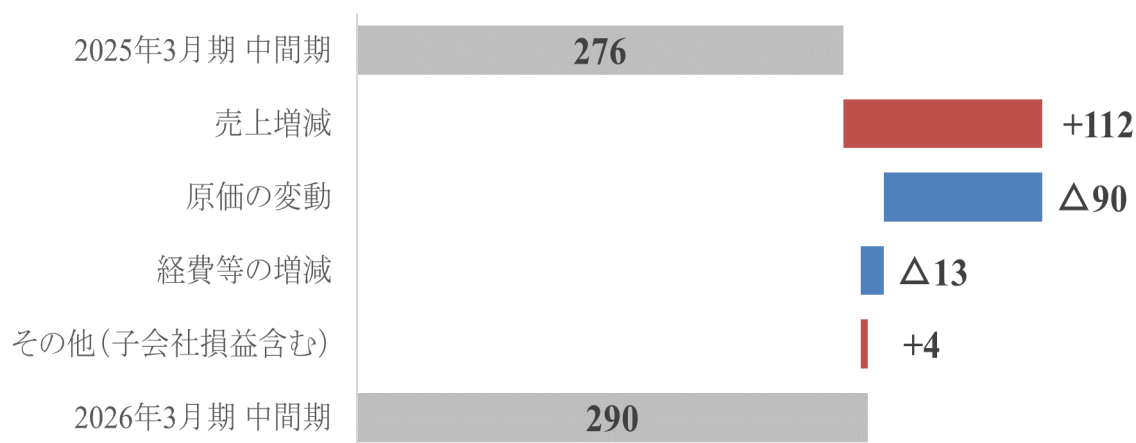
- ・売上高は前年同期並みとなりました。カカオ事業、フードソリューション事業は前年同期を上回り、デイリー事業は前年同期並みとなりました。ニュートリション事業は前年同期を下回りました。
- ・営業利益は前年同期を上回りました。デイリー事業、カカオ事業、フードソリューション事業は前年同期を大幅に上回りました。ニュートリション事業は前年同期を大幅に下回りました。

(単位：億円)

		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前年同期 増減率
食 品	売 上 高	4,554	4,584	0.7%
	営業利益	276	290	5.0%

営業利益増減分析

(単位：億円)



事業別の概況は次のとおりです。

(単位：億円)

売 上 高				営 業 利 益			
	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前年同期 増減率		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前年同期 増減率
デイリー	1,355	1,347	△0.6%	デイリー	104	120	14.9%
カカオ	739	791	7.0%	カカオ	31	48	53.8%
ニュートリ ション	623	613	△1.6%	ニュートリ ション	85	73	△14.2%
フードソリ ューション	994	1,029	3.6%	フードソリ ューション	39	52	31.2%
その他	841	801	△4.8%	その他	14	△4	—

デ일리事業 (プロバイオティクス、ヨーグルト、牛乳、海外)

- ・売上高は前年同期並みとなりました。国内では、価格改定と販促強化により主力の「明治ブルガリアヨーグルト」や「明治おいしい牛乳」など市販品は好調に推移しましたが、宅配チャネルの不調により前年同期並みとなりました。海外では、中国で2025年7月より新商品「明治おいしい牛乳」を発売し、市販用牛乳・ヨーグルト事業が増収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に上回りました。国内は、価格改定効果や宣伝費の減少などにより増益となりました。海外は、中国の市販用牛乳・ヨーグルト事業のリバイバルプランにおけるコスト改善の取り組みにより赤字額が縮小しました。

カカオ事業 (チョコレート、グミ、海外)

- ・売上高は前年同期を上回りました。国内では、チョコレートが価格改定効果により増収となりました。グミも新商品が好調に推移し増収となりました。海外は、中国での主力チョコレート群の伸長や米国での「ハローパンダ」の販売拡大により増収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に上回りました。国内は、原材料コストが増加しましたが価格改定効果により増益となりました。海外は、中国における原材料高騰などが影響し減益となりました。

ニュートリション事業 (乳幼児ミルク、スポーツ栄養、高栄養食品、海外)

- ・売上高は前年同期を下回りました。国内では、乳幼児ミルクがインバウンド需要の減少などの影響で減収となりました。海外は、輸出販売の減少により減収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に下回りました。国内では、原材料コストの増加や乳幼児ミルクなどの減収により減益となりました。海外は、前年同期に発生した事業拡大のための先行投資費用の反動により赤字額が縮小しました。

フードソリューション事業 (B to B、チーズ、フローズンデザート、海外)

- ・売上高は前年同期を上回りました。国内では、業務用のクリームやカカオが増収となりました。チーズも主力の「明治北海道十勝カマンベールチーズ」が好調に推移しました。海外では、中国において、業務用クリームが好調でしたが、業務用牛乳や市販のフローズンデザートの不調により減収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に上回りました。国内は、原材料コストが増加しましたが、B to B事業における販売拡大や価格改定効果により増益となりました。海外は、コスト削減の取り組みが寄与し赤字額が縮小しました。

その他事業 (乳原料、国内独立系子会社、海外)

- ・売上高は、受託製造品の減収が影響し前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、国内の受託製造品の減収と、海外の事業拡大のための先行投資費用の発生により営業損失となりました。

②医薬品セグメント

- ・売上高は前年同期を上回りました。国内事業、ワクチン・動物薬事業が前年同期を上回りました。海外事業は前年同期を下回りました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に下回りました。海外事業は前年同期を大幅に上回りましたが、国内事業、ワクチン・動物薬事業が前年同期を大幅に下回りました。

(単位: 億円)

		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前年同期 増減率
医薬品	売上高	1,138	1,169	2.7%
	営業利益	185	143	△22.8%

営業利益増減分析 (単位: 億円)



事業別の概況は次のとおりです。

(単位：億円)

売 上 高				営 業 利 益			
	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前年同期 増減率		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	対前年同期 増減率
国 内	536	566	5.6%	国 内	108	96	△10.5%
海 外	335	326	△2.6%	海 外	34	41	21.2%
ワクチン・ 動物薬	266	276	3.6%	ワクチン・ 動物薬	43	5	△88.4%

国内事業 (感染症、免疫、CNS、ジェネリック医薬品)

- ・売上高は前年同期を上回りました。2024年5月発売の選択的ROCK2阻害剤「レズロック錠」が伸長し、血漿分画製剤も増収となりました。抗菌薬はシェアは維持しているものの、細菌感染症流行状況の変化により市場が低調に推移したため伸長率が鈍化しました。
- ・営業利益は、薬価改定の影響などにより前年同期を大幅に下回りました。

海外事業 (海外自販、海外CMO/CDMO、グローバル品)

- ・売上高は前年同期を下回りました。インドの子会社の為替影響に加えて、スペインの子会社の減収が影響しました。
- ・営業利益は、研究開発費用の減少により前年同期を大幅に上回りました。

ワクチン・動物薬事業 (ワクチン、動物薬、新生児マススクリーニング)

- ・売上高は前年同期を上回りました。5種混合ワクチン「クイントバック」が伸長しました。
- ・営業利益は、研究開発費用などの増加により前年同期を大幅に下回りました。

(2) 財政状態に関する説明
①資産、負債及び純資産の状況

(単位: 億円)

	2025年3月期	2026年3月期 中間期	対前期末 増減額	主な増減要因
流動資産	5,407	5,748	341	原材料及び貯蔵品+278、 受取手形及び売掛金+178、 現金及び預金△82
固定資産	6,437	6,590	153	建設仮勘定+271、投資有価証券△92
資産合計	11,844	12,339	494	—
流動負債	3,070	3,452	381	コマーシャル・ペーパー+260、 1年内償還予定の社債+100、 短期借入金+72、支払手形及び買掛金+28、 未払費用△118
固定負債	856	948	92	長期借入金+194、社債△100
負債合計	3,926	4,400	473	—
株主資本	6,840	6,894	54	利益剰余金+47
その他の包括利益 累計額	642	596	△46	為替換算調整勘定△65、 その他有価証券評価差額金+26
非支配株主持分	434	448	13	—
純資産合計	7,917	7,938	20	—
負債純資産合計	11,844	12,339	494	—
有利子負債	478	1,004	526	コマーシャル・ペーパー+260、 長期借入金+194、短期借入金+72
自己資本比率	63.2%	60.7%	△2.5pt	—

②キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2025年 3月期 中間期	2026年 3月期 中間期	対前年 同期 増減額	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	37	△94	△132	棚卸資産の増減額△230、売上債権の増減額△172、 仕入債務の増減額+253
投資活動による キャッシュ・フロー	△121	△389	△267	投資有価証券の売却による収入△202、 無形固定資産の取得による支出△23、補助金の受取額△23
財務活動による キャッシュ・フロー	△174	376	550	自己株式の増減額+300、長期借入れによる収入+200
現金及び現金同等物 の中間期末残高	733	564	△169	—
フリー・ キャッシュ・フロー	△84	△483	△399	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

食品セグメントは、カカオ事業の売上高が上期は計画を上回って推移しており、下期もこの傾向が継続する見込みです。一方で、ニュートリション事業は売上回復に向けた取り組みを進めているものの、通期で計画を下回る見込みです。デイリー事業およびフードソリューション事業は、上期は計画を下回ったものの、下期は計画を上回り、通期では計画並みとなる見込みです。

医薬品セグメントは、上期の売上高が各事業ともに計画を下回って推移しました。下期については、国内事業は上期の遅れを挽回し通期で計画を達成する見込みですが、海外事業は引き続き計画を下回る見込みです。ワクチン・動物薬事業は下期が計画並みに進捗しても、上期の未達分を補うには至らない見込みです。

このような事業動向を踏まえ、2026年3月期の通期連結売上高が、2025年5月9日に公表いたしました予想を下回る見通しであることから、下記のとおり修正いたしました。

なお、営業利益が上期において順調に推移していることから、各利益の修正は行いません。

■2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,195,000	91,000	87,500	54,000	197.80
今回修正予想 (B)	1,177,000	91,000	87,500	54,000	197.80
増減額 (B-A)	△18,000	—	—	—	
増減率 (%)	△1.5	—	—	—	
[ご参考] 前期連結実績 (2025年3月期通期)	1,154,074	84,702	82,013	50,800	186.08

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,191	69,898
受取手形及び売掛金	189,533	207,422
商品及び製品	127,621	140,851
仕掛品	5,084	9,164
原材料及び貯蔵品	81,919	109,777
その他	58,817	37,885
貸倒引当金	△401	△115
流動資産合計	540,765	574,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	377,109	381,006
減価償却累計額	△189,056	△196,279
建物及び構築物 (純額)	188,053	184,726
機械装置及び運搬具	598,984	608,259
減価償却累計額	△438,925	△448,828
機械装置及び運搬具 (純額)	160,059	159,431
工具、器具及び備品	60,292	61,272
減価償却累計額	△47,456	△48,410
工具、器具及び備品 (純額)	12,836	12,862
土地	76,092	76,130
リース資産	3,313	1,702
減価償却累計額	△2,260	△1,008
リース資産 (純額)	1,053	694
建設仮勘定	45,807	72,962
有形固定資産合計	483,901	506,807
無形固定資産	19,240	21,565
投資その他の資産		
投資有価証券	78,354	69,148
退職給付に係る資産	37,616	37,883
繰延税金資産	15,773	14,947
その他	8,873	8,843
貸倒引当金	△54	△168
投資その他の資産合計	140,563	130,654
固定資産合計	643,706	659,027
資産合計	1,184,472	1,233,912

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,846	105,659
短期借入金	25,376	32,589
1年内償還予定の社債	—	10,000
コマーシャル・ペーパー	—	26,000
未払費用	48,785	36,955
未払法人税等	14,332	14,439
契約負債	721	582
返金負債	20,784	22,426
賞与引当金	11,496	10,852
偶発損失引当金	1,500	2,500
その他	81,234	83,207
流動負債合計	307,077	345,213
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	12,423	31,836
繰延税金負債	3,747	3,762
退職給付に係る負債	50,602	50,628
役員退職慰労引当金	79	80
その他	8,757	8,524
固定負債合計	85,611	94,831
負債合計	392,688	440,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	38,708	38,743
利益剰余金	649,258	653,977
自己株式	△33,956	△33,307
株主資本合計	684,010	689,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,261	18,918
繰延ヘッジ損益	△17	28
為替換算調整勘定	35,752	29,224
退職給付に係る調整累計額	12,282	11,429
その他の包括利益累計額合計	64,278	59,601
非支配株主持分	43,494	44,852
純資産合計	791,783	793,867
負債純資産合計	1,184,472	1,233,912

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	569,006	574,885
売上原価	397,591	400,037
売上総利益	171,414	174,847
販売費及び一般管理費	127,021	133,905
営業利益	44,392	40,942
営業外収益		
受取利息	239	409
受取配当金	590	540
為替差益	455	1,062
その他	716	652
営業外収益合計	2,001	2,665
営業外費用		
支払利息	173	303
持分法による投資損失	2,221	822
その他	651	855
営業外費用合計	3,046	1,980
経常利益	43,347	41,626
特別利益		
固定資産売却益	526	1,853
補助金収入	8	91
その他	3,498	266
特別利益合計	4,033	2,211
特別損失		
固定資産廃棄損	2,692	1,550
固定資産圧縮損	8	86
減損損失	171	1,111
偶発損失引当金繰入額	—	1,000
その他	256	179
特別損失合計	3,129	3,928
税金等調整前中間純利益	44,251	39,910
法人税等	14,773	15,256
中間純利益	29,477	24,653
非支配株主に帰属する中間純利益	2,610	3,176
親会社株主に帰属する中間純利益	26,867	21,477

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	29,477	24,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,381	2,649
繰延ヘッジ損益	△199	46
為替換算調整勘定	△4,401	938
退職給付に係る調整額	448	△886
持分法適用会社に対する持分相当額	3,041	△852
その他の包括利益合計	△3,492	1,895
中間包括利益	25,985	26,549
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	23,356	23,368
非支配株主に係る中間包括利益	2,628	3,181

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	44,251	39,910
減価償却費	27,569	27,036
減損損失	171	1,111
有形固定資産除却損	1,135	1,593
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△77	△164
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△508	△645
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△564	△1,536
受取利息及び受取配当金	△830	△950
支払利息	173	303
持分法による投資損益 (△は益)	2,221	822
有形固定資産売却損益 (△は益)	△526	△1,735
売上債権の増減額 (△は増加)	244	△16,968
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△21,692	△44,719
契約負債の増減額 (△は減少)	227	△138
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,543	1,801
その他	△10,138	△2,797
小計	18,114	2,924
利息及び配当金の受取額	1,500	2,154
利息の支払額	△173	△267
法人税等の支払額	△15,681	△14,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,760	△9,460
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	41	△1,397
有形固定資産の取得による支出	△33,114	△33,521
無形固定資産の取得による支出	△2,244	△4,580
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,497	1,941
補助金の受取額	2,425	91
投資有価証券の取得による支出	△102	△352
投資有価証券の売却による収入	20,641	392
その他	△1,333	△1,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,188	△38,937
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	19,997	7,965
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	10,000	26,000
長期借入れによる収入	—	20,000
長期借入金の返済による支出	△2,115	△1,312
自己株式の増減額 (△は増加)	△30,043	△5
配当金の支払額	△13,229	△13,507
非支配株主への配当金の支払額	△801	△766
その他	△1,212	△766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,404	37,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,013	458
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△26,845	△10,333
現金及び現金同等物の期首残高	102,832	66,398
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,609	—
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	391
現金及び現金同等物の中間期末残高	73,377	56,456

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	455,126	113,879	569,006	—	569,006
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	307	10	318	△318	—
計	455,434	113,889	569,324	△318	569,006
セグメント利益	27,645	18,558	46,203	△1,810	44,392

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,810百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,823百万円が含まれております。全社費用は当社(持株会社)運営に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額 （注1）	中間連結損益 計算書計上額 （注2）
	食品	医薬品			
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	457,907	116,978	574,885	—	574,885
（2）セグメント間の内部売上 高又は振替高	495	10	506	△506	—
計	458,402	116,989	575,391	△506	574,885
セグメント利益	29,013	14,319	43,333	△2,390	40,942

（注）1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△2,390百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに
配分していない全社費用△2,400百万円が含まれております。全社費用は当社（持株会社）運営に係
る費用等であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

のれんの金額の重要な変動はありません。

（重要な負ののれん発生益）

重要な負ののれん発生益はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。